



いけはな
works

Note

NO.10 H16.4.25

NPO 法人いけはな works 事務局
〒203-0032

東京都東久留米市前沢 5-7-27

創美流華道會館内

TEL 0424-71-4022(代)

FAX 0424-71-1616

http://isweb42.infoseek.co.jp/art/ih_works/

e-mail:ikehana-works@sobiryu.jp

花と日本文化 第3回

『桜と月見』

金子 善光

吉田兼好は『徒然草』で「桜は花盛りだけが、月は雲ひとつ掛らぬ時だけを見るべきなのであるうか。雨空に向つては月を恋しく思い、霞が立ち籠めて見えぬ桜の様子にも、なお、しみじみとした風情がある。桜が咲く直前の梢や桜が散ってしまった庭などこそ、見どころが多いのだ。(中略)桜が散り、月が沈したのを、残念がるのは世の常だが、特に心のねじれた人が『この枝もあの枝も散ってしまった、もう見どころがない』などと言うのに違いない」(花は盛りに、月は隈なきをのみ見るべきものかは。雨に對ひて月を恋ひ、たれこめて春の行方知らぬも、なほ、あはれに情多し。咲きぬべきほどの梢、散りしをれたる庭などこそ、見どころ多けれ。(中略)花の散り、月の傾くを慕ふ習ひはさることなれど、殊にかたくななる人ぞ、『この枝、かの枝散りにけり。見どころなし』などは言ふめる)と言っている。見えぬ月や霞に阻まれた桜、あるいは桜が散ってしまった庭にも趣を見出している。

これに対し、江戸時代の国学者本居宣長は『玉かつま』で異議を唱えて「誰もが桜は満開なのをのんびり見たいと思ひ、満月は雲の掛っていないのを眺めたいと願う思うからこそ、そうでない状況を嘆いたのである。いったいどこの歌に満開の桜に風が吹くのを待ち、満月に雲が掛かるのを願ったものがあるというのか。そうであるのに兼好法師が言ったようなことは人間の感情に逆らっていて、後世の理屈っぽい作り物の風流であり、真の雅心ではない」(みな花は盛りを長閑に見まほしく、月は隈なからんを思ふ心の切なるからこそ、さも有らぬを嘆きたるなれ、何処の歌にかは、花に風を待ち、月に雲を願ひたるは有らん、さるをか法師が言へる如くなるは、人の心に逆ひたる、後の世の賢しら心の、作り風流にして、まことの雅心にはあらず)と述べるのである。

兼好の時代は〈陰翳〉や〈余韻〉が尊ばれた。従つて当時としては当然の捉え方であつたであろう。

ただし実例(桜や月を詠んだ歌)について言えば宣長が指摘した通りなのである。現代人である私どもは兼好や宣長とも違つた花見を楽しんでいる。しかし実感は宣長の考えに近いようだ。

《金子 善光(かねこ よしみつ) プロフィール》

國學院大學神道文化学部講師

國學院大學大学院文学研究科神道学専攻博士課程修了

儀礼文化学会運営委員・現代神社と実務研究会常務理事・神道宗教学会理事

◆ ご案内 ◆

中外日報 連載 『平成のいけばな』作品掲載 参加流名

終了

一昨年10月より、毎週木曜日版に『平成のいけばな』と題して作品写真を連載しており、昨年9月いっぱいである1年となりました。参加総数45名。中外日報発行数全国紙10万部。本連載は前回継続中としましたが、1年間にて終了しました。

ご協力を頂きました先生方に感謝申し上げますと共に、参加流派名を下記に再度ご紹介申し上げます。

未生流総家 小原流 草月流 華道表現派 華道本能寺 華道瑩心流 創美流華道 (以上順不同)

『歴史研究』 いけばな流派 掲載流派名

連載中

本年7月号から『歴史研究』(全国団体である歴史研究会の機関誌。発行部数1万部)誌面2頁において“いけばな流派”の連載を行っております。

連綿と現在まで伝えられている“いけばな”を様々な流派を紹介することによって、分野の壁を越え、多くの方に興味を持って頂ければと思っております。

流派会派支部等を代表されます先生方には是非とも本趣旨に御賛同頂き、御協力願いたく、お願い申し上げます。(詳しくは別個御案内させていただきます。)

現在までに登場された流派は下記のとおりです。(予定も含む)

7月号 未生流総家	8月号 創美流華道	9月号 華道瑩心流
10月号 竹青華道会	11月号 華道相阿彌流	12月号 日本古流
1月号 一葉式いけばな	2月号 NPO いけばな works	3月号 松風流盛花
4月号 広山流	5月号 小原流和歌山支部	6月号 都古流

花卉園芸新聞 連載 『紙上いけばなギャラリー』作品掲載者

継続中

花卉業界最高の購読率を誇る花卉園芸新聞では、毎月5日の紙面にて『紙上いけばなギャラリー』としていけばな作品の掲載を昨年4月より本年3月までの1年間の予定で連載しておりましたが、好評につき継続連載が決定いたしました。(発行部数3万部)モノクロですが、紹介サイズも大きく、大変注目率が高い紙面となっております。ここに、現在までの掲載の先生をご紹介させていただきます。(予定も含む)

どなたでも参加出来ますので、紙面にて作品をご紹介いただけます先生は事務局までお問い合わせ下さい。(以下敬称略)

4月 5日号 未生流総家	和田高甫	5月 5日号 華道瑩心流	木下艸雲
6月 5日号 成月流華道	岩淵成萌	7月 5日号 いけばな作家	岩間美弓
8月 15日号 草月流	青木育子	9月 15日号 古流松藤会	上野理彰
10月 5日号 いけばな作家	田中美代子	11月 5日号 竹青華道会	寺田美恵子
12月 5日号 龍生派	和田俊雪	1月 5日号 草月流	丹野霞園
2月 5日号 アーティスト	マッド・ジョンソン	3月 15日号 創美流華道	渡邊華靖
4月 25日号 小原流	福永八千代	5月 15日号 華道遠州	芦田一寿
6月 15日号 道風流	佐藤華畊		

目まぐるしく成長、発展を遂げてきた日本経済、社会情勢のなかで、「伝統」「文化」の継承や存続に対して危機感を持ちはじめた昨今、昨年は、文化庁委嘱事業の伝統文化こども教室が実施されるなど国ぐるみでの対策もとられるようになってまいりました。

いけばな works では、一昨年の4月“世界に誇る我が国の伝統文化にふれる—いけばな体験講座”として自由民主党本部にて議員先生方を対象に実際に花をいけて頂く講座を開催いたしました。本年も下記の日程・内容にて開催させて頂きました。

今回実施までの動きが非常にタイトであった為事後報告という形になってしまいました点はご了承頂きたく存じます。今回の開催にあたり各方面より御協力を頂きました、紙面にて御礼ならびにご報告申し上げます。

【開催日時】 平成16年3月30日 午後4時半～5時半 自民党本部701号室

【開催名称】 自由民主党 文化・スポーツ局主催「第二回伝統文化いけばな体験講座」

広報本部長 八代英太先生 文化・スポーツ局長 橋本聖子先生

【開催趣旨】 わが国を代表する伝統文化の一つである「いけばな」は長い歴史を有し、国内はもとより海外でも「IKEBANA」として多くの愛好者を有している。このようないけばなを歴史的な上からもご理解頂く為、議員先生方に実際に体験をして頂く場を設定。

【開催内容】 <いけばな体験講座>

参加人数 41名（国会議員5名、大使館関係16名・カナダ・EU・中国）

議会議員・各種女性団体連合会関係、メールマガジン読者等

NPO いけばな works 参加スタッフ…8名

<飾花>

安部晋三幹事長室（国会議事堂内の幹事長室）に提供の花材でいけた花を届ける。橋本聖子文化・スポーツ局長とともに開催前の挨拶として安部晋三先生を表敬訪問。

<飾花>

元宿事務局長室（自民党本部会館）に提供の花材でいけた花を届ける。

【当日取材】 花卉園芸新聞社・日本農業新聞・誠文堂新光社「農耕と園芸」編集部・「りぶる」編集部・自由新報 等

【資料等協力】 (社)未生流総家・華道相阿彌流・創美流華道・竹青華道会・JA 全農長野・JA 鶴岡・JA はまゆう・(有)越前屋プランニング・(有)尾作生花店・関東花器茶器専門店会・茶華企画・歴史研究会・草土出版・花卉園芸新聞社・靖國神社遊就館



『フラワーショップ』作品掲載

新連載「いけばなヌーベルヴァーグ」今春よりスタート！ 掲載者募集！

(株)草土出版より発行の雑誌『フラワーショップ』は一般大型書店や園芸店、花屋にて販売されている月刊誌です。(発行部数6万部)内容はフラワーアーティスト及び園芸店、花屋向けとして、最新の花情報、トレンドスタイルを中心とした誌面構成となっております。

多くの読書を有する雑誌、『フラワーショップ』誌面にて、新企画として連載がはじまりました。掲載タイトルは「いけばなヌーベルヴァーグ」として『フローリスト』とは異なった魅せかたで作家と作品を紹介して参ります。詳細は下記の通りです。

- 【タイトル】 「いけばなヌーベルヴァーグ」
【掲載枠】 カラー・見開き2頁(1頁に1名の作家を紹介)
【サイズ】 縦297^{mm}・横225^{mm}/1頁
【連載開始】 平成16年4月号より(3月1日発売)より連載開始
【内容】 作品ジャンルは問わず、作品の枠は限定しません。
【掲載条件】 流派・資格等は一切問いません。掲載は無料です。

※なお、現在掲載予定の先生は下記通りになっております。既刊もあわせてご紹介いたします。

- 第1回—4月号 和田 高甫(未生流総家)・渡邊 華靖(創美流華道)
第2回—5月号 伊藤 庭花(小原流)・岩田 佳川(小原流)
第3回—6月号 寺田美恵子(竹青華道会)・福永八千代(小原流)
第4回—7月号 マッドジョンソン(アーティスト)・芦田 一寿(華道遠州)
第5回—8月号 木下 艸雲(華道瑩心流)・岩淵 成崩(成月流)

『近江神宮の森 野外現代いけばな展』開催について

平成13年より3年間にわたり、鎌倉宮(神奈川県二階堂)において、みどりの日記念野外現代いけばな展を企画・開催致しましたが、好評のなか昨年(平成15年)を以て終了とさせて頂きました。マンネリとならぬ様、新たな環境の中での開催を考え、(今までいけばな works の企画は関東での開催が殆どであったことも課題として検討し)今回近江神宮での野外展の開催を企画致しました。この度近江神宮側の了承を頂き、本年5月のゴールデンウィークの開催が決定致しました。今回は実行委員として下記の先生にも御協力頂き、より厚みのある華展となるものと期待されます。

- 【開催名称】 近江神宮の森 野外現代いけばな展
【会期】 平成16年5月1日(土)～5月5日(水) (※1日(土)公開活け込み)
【活け込み】 4月30日(金)午後2時～6時まで・5月1日(土)午前7時～午後4時半まで
【あげ花】 平成16年5月5日(水)午後3時～午後5時
【会場】 近江神宮・境内(滋賀県大津市神宮町) ※招待ハガキをご参照下さい。
【共催】 近江神宮・いけばな works・いけばなネットワーク21(東京)
【後援】 産経新聞社・京都新聞滋賀本社・花卉園芸新聞社・日本女性新聞社・BBCびわこ放送・フローリスト
【実行委員】 新藤 華浩(いけばなネットワーク21東京事務局)
福永八千代(現代紀の国展実行委員長)・飯尾しづ子(いけばな造形大学事務局長)
和田 高甫(いけばな works 副代表)・山内瀧舟(いけばな works 事務局長)
【開催内容】 出品者数…43名 42作品(※4月20日現在)の作品を境内各所に野外展示する。
いけばな展開催奉告祭の実施…平成16年5月1日(土)午後5時
懇親会の開催…平成16年5月1日(土)午後6時～8時 会費5000円
場所：近江勸学館(近江神宮内)
【入場料金】 無 料
【出品者】 湯川 章(小原流)・村田明子(小原流)・安田知子(小原流)・福永八千代(小原流)・
寺前豊久(小原流)・中江孝子(小原流)・破入一瑛(小原流)・廣野ひとみ(小原流)・

東 敦子(小原流)・橋本雅史(小原流)・林有為子(小原流)・保田カズミ(小原流)・
尾崎雅子(小原流)・山本修子(小原流)・伊藤庭花(小原流)・平間磨理夫(小原流)・
飯尾しづ子(小原流)・平 香代/榎本博子(小原流)・斎藤菜穂(嵯峨御流)・
和田俊雪(龍生派)・木川博甫(未生流笹岡)・高瀬美佐甫(未生流笹岡)・
和田高甫(未生流総家)・宮本恵甫(未生流総家)・阪上朝甫(未生流総家)・
松本博成(華道本能寺)・杉崎宗雲 jr.(御室流)・新藤華浩(桂古流)・
小邑理晴(古流松寿会)・滝澤洋子(八代古流)・木下静香(大和花道)・
渡邊華靖(創美流華道)・山内瀨舟(創美流華道)・石井謙二・山野裕子・岩間美弓・
伊東豊遊・大吉昌山・吉川芳山・工藤亜美・幸田充弘・中谷小百合

※以上順不同・敬称略 (4月20日現在)

※なお、開催奉告祭と懇親会は出品者以外の方も参加出来ます。

懇親会出席希望の方は事務局までお早めにご連絡下さい。

浜名湖花博 大地の恵み 現代いけばなアート展 募集要項

本年 2004 年 4 月 8 日～10 月 11 日の 187 日間にわたり、(財) 静岡国際園芸博覧会協会主催によるしずおか国際園芸博覧会「パシフィックフローラ 2004」通称「浜名湖花博」が浜名湖畔の浜名湖ガーデンパーク(浜松市村櫛町)で注目のもと開幕となりました。

わが国では前回大阪で開催以来、14 年ぶり 3 度目の開催となりますなか、花博初の現代いけばな展が本展で開催されることとなりました。

国際園芸博覧会というインターナショナルな場で「現代いけばなアート展」(植物素材を使った芸術作品、いけばなやフラワーアレンジメントの技術に、はなをいける者の感性を加えて創られてゆく作品)を発表・発信することにより“現代いけばな”の認知度を高めることを目的に、日本の伝統文化である“いけばな”の未来への可能性を考えると共に、伝統的いけばなや、フラワーアレンジメントを含めたわが国の花文化の普及・啓発を目的として開催致します。おおよそ 200 m² (10 ブース) に約 40 作品を展示、より質の高い華展として国内外の来場者に魅せてゆきたく企画をしております。ここに簡単に要項をご案内いたします。

— 大地の恵み 現代いけばなアート展 開催要項 —

“はなをいけるものたち”という共通項にて、現代を代表し未来を模索する、フラワーデザイナー、いけばな作家、アーティスト等、幅広いジャンルの面々が終結、植物の新たな可能性を求め、世界に向けて国内からの発信として作品展示を行います。

【会期】平成 16 年 9 月 4 日(土)～9 月 12 日(日) 午前 9 時 30 分～17 時 00 分

【会場】浜名湖花博 『国際花の交流館』スペース 1

【主催】(財)しずおか国際園芸博覧会協会

【後援予定】花卉園芸新聞社 ほか

【協力予定】『フローリスト』編集部 『フラワーショップ』編集部

【事務局】NPO いけばな works

【いけこみ】平成 16 年 9 月 2 日(木) 午前 8 時 00 分～18 時 30 分

平成 16 年 9 月 3 日(金) 午前 8 時 00 分～18 時 30 分 の 2 日間

【あげ花】平成 16 年 9 月 12 日(日) 午後 5 時 00 分～18 時 30 分

平成 16 年 9 月 13 日(月) 午前 8 時 00 分～18 時 30 分 の 2 日間

【会場面積】202.5 m² (10 ブース)

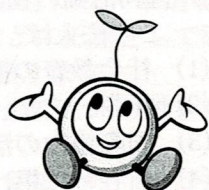
【作品寸法】A…間口 180 cm×奥行 180 cm×高さ 550 cm **280**

B…間口 180 cm×奥行 180 cm×高さ 400 cm **100**

C…フリー(打ち合わせによって、大きく出来ます。)

【作品定員】30～40 点

【出瓶料】30,000 円 (1 区画)



以上、詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

◆ NPO 法人設立にあたって ◆

NPO 法人いけばな works 設立にあたっての御報告

① NPO 法人申請に至るまでの経過としては

平成 15 年 3 月 24 日 20 時より京王プラザホテル(東京都新宿区西新宿 2 丁目 2 番 1 号)にて 発
起人会を開き、設立の趣旨、定款、会費及び財産、平成 15 年度及び平成 16 年度の事業計画、収
支、予算、役員の名簿を審議し決定した。

平成 15 年 4 月 27 日 17 時より 設立総会を開き、発起人より設立の趣旨、定款、会費及び財産、
平成 15 年度及び平成 16 年度の事業計画、収支予算、役員の名簿を提案し、審議の上決定し、平成
15 年 7 月 14 日に設立認証申請を内閣総理大臣宛に申請しました。

② 設立趣旨は次の通り

現代では、日本文化が身近でなくなってゆく中、いけばなを伝承する者の高齢化、後継者の不足
が深刻化しており、現代社会においては日本文化華道の重要性に気付く機会があまりに少ない状
況の中、本会は平成 8 年 3 月に超流派によるいけばな活動を目的に発足した「新宿いけばな倶楽
部」の会員有志により、現代いけばなの社会発信を目的に平成 12 年にグループ活動として発足
し、「新宿いけばな倶楽部」の解散に伴い、同倶楽部のいけばなの全般の社会発信等の活動を引
き続き行う中、平成 13 年に「文化芸術振興基本法」の交付施行、学校教育における伝統文化な
どの総合学習が行われるようになり、より広く、いけばなの振興をはかり、流派を超えて、次の
世代にいけばな華道を伝承して頂ける様普及して参りたく、世界に誇る日本の代表的文化である
いけばなの理解を広め、伝統文化の伝承、普及を通じ、全般的な進行をはかって参りたく、公の
活動として、公益の増進に寄与する団体として、設立致します。

特定非営利活動法人

いけばな文化振興普及協会 いけばな works 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人 いけばな文化振興普及協会いけばな works という。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都東久留米市前沢五丁目 7 番 27 号 創美流華道會館内
に置く。

2 この法人は、前項のほか、従たる事務所を 大阪府大阪市中央区高麗橋二丁目 5 番 15 号
華道未生流會館内に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、国内外問わず、広くいけばな文化の普及、啓発のために、いけばな文化
の広報、普及に関する事業を行い、いけばな文化の発展、振興に寄与することを目的と
する。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 社会教育の推進を図る活動
- (2) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (3) 国際協力の活動
- (4) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業)

この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

第5条

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① いけばな文化振興に関する総合的企画事業
- ② いけばなの普及、紹介に関する展示、教育等の事業
- ③ いけばな文化の調査研究、情報収集及び提供
- ④ いけばな人の交流、作品発表等の活動
- ⑤ 会報及び出版物の発行

第3章 会員 (省略)

第4章 役員及び職員 (省略)

第5章 総会 (省略)

第6章 理事会 (省略)

第7章 資産及び会計 (省略)

第8章 定款の変更、解散及び合併 (省略)

第9章 公告の方法 (省略)

第10章 雑則 (省略)

附則 (一部省略)

6. この法人の設立当初の会費は、第8条の規定にかかわらず次に掲げる額とする。

① 正会員	年会費	1口	10,000円
② 準会員	年会費	1口	1,000円
③ 賛助会員	年会費	1口	10,000円

以上、定款の一部を掲載しご報告とさせていただきます。今後共の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます、少しでも目的達成の為の努力をして参りたく存じます。

『事務局より』

代表理事 渡邊 華靖

いけばな works Noto も早いもので10号の発行となり、配布部数も300部を超えました。出来るだけ広く、多くの方々に情報とご案内をと思い、又、社会発信の為の事業を多く行いたいとの思いから、既存の団体と違って、新しく立ち上げた小さなグループとしては会費の範疇で予算の範囲で行うといった鉄則を守ることは活動の不活発につながる為、常に赤字の中活動をして来ており、NPO法人として立ち上げた上は、借入れは出来ないとの認識で活動をしています。

しかしながら何を行うにもご支援頂く方々がなければ成り立たない現状ですので、出来るだけ会費収入を増やし、活動をサポート頂きながら発信を続けて参りたく思っております。お心ご支援頂ける方は是非賛助会費としてご支援賜りたくここにお願い申し上げます。

今迄も様々な方面に助成支援の申請を進めていますが、華道いけばなの分野に関しては大変壁が厚い様です。(社)メセナ協議会の助成事業と、芸術活動として、いけばなが初めて認定された新宿いけばな倶楽部の“競花宴”も費用に関しては自己努力でありましたが、企業支援メセナ活動の認証をも今後は一段と考えて行きたく思っています。本 works Note も毎月500部以上の発行になりますと第3種郵便物認可が受けられ送料の軽減につながります。目標は高くいけばな、華道を芸術として行政に認可して頂くことが助成支援の早道でも有り、学校教育などに正課として導入して頂く等のことなども、本業界の今後第一儀的に行うことであると思っております。

その一助として本会も小さいながらも、小回りの利く既存の団体で行いづら分分野での活動を中心に社会発信と共に公益活動に力を注いで参りたく考えております。

なにぶん新しく小さな団体ではありますが、何卒良き理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

イベント情報

4月・5月

世界の植物の切手

- ◆ 勅使河原茜プロデュース
草月いけばな展『春・花の競宴—未来への扉』
会期：4月21日(水)～27日(火)
会場：日本橋高島屋8階ホール
主催＝財団法人草月会

- ◆ 華(千羽理芳)・器(山本安朗)展 『胎児の記憶』
会期：4月22日(木)～25日(日)
時間：11時～17時

- ◆ 草月花 AVENUE2004
会期：4月25日(日)～5月5日(水)
会場：東京・表参道
主催＝財団法人草月会



- ◆ 日光東照宮 春季例大祭・献華之儀 創美流華道家元奉納行事
会期：5月17日(月)
時間：9時～
会場：日光東照宮 拝殿
栃木県日光市

- ◆ はっ葉っぱ 3人展 春日流瓶花
会期：5月29日(土)・30日(日)
会場：かねまつホール
東京都中央区銀座6-9-9 Tel.03(3572)6285
入場：無料

故 北條 明直 (ほうじょうあきなお) 氏 逝去

この度、北條明直(享年81歳)儀、去る3月3日午前3時17分に病氣療養中の処薬石効なく永眠しました。

ここに先生の生前のご指導・ご尽力に感謝申し上げ心よりご冥福をお祈り申し上げます。

私はこのたび幽冥界を異にすることになりました。

ここに至ります80年間・恙無く人生を送ることができましたのは、一重に各位のお力添えがあればこそと、ここに深くお礼申し上げます。私は、死を新しい旅立ちと考えていますので、葬儀など行わないよう身内に申してあります。どうか静かに旅立たせて下さい。

終わりに各位の益々のご清栄を祈り「さようなら」をいわせていただきます。 不一

北條 明直